

心臓造影CT検査に関する説明書

予約日時： 年 月 日（ ） 時 分

【検査当日の持ち物】

- ①心臓造影CT検査説明書（本用紙）②保険証 ③診察券（お持ちの場合）④お薬手帳（お持ちの場合）
⑤心臓造影CT検査申込書【診療情報提供書】（依頼元お医者様にて必要事項明記の上）

予約の30分前までに

新東京病院（和名ヶ谷スポーツセンター隣）1階 外来受付

にお越してください。

（松戸駅東口新東京クリニックより直通の無料シャトルバスがごさいます）

【検査前準備について】

検査開始4時間前からのお食事はお控えください。

水・お茶はいつも通り摂取してください。（乳成分・糖分の含まれる飲み物は飲まないでください）

その他服用中のお薬がある場合は、内服してかまいません。

【内服中のお薬について】

当院ではヨード造影剤の使用時、一時的にビグアイド系糖尿病薬の休薬をお願いしています。

（ビグアイド系糖尿病薬と造影剤を併用すると、乳酸アシドーシスが現れる恐れがある為、

服用の一時中止が必要となります）

（原則的に検査日より48時間前から中止し、造影終了48時間後から再開とします）

ビグアイド系糖尿病薬（血糖降下薬）

- ・メトグルコ ・イニシンク ・ネルビス ・メトホルミン ・ジベトン ・エクメット
・メデット ・ジベトス ・メタクト ・その他（ ）

/ より中止 ・ 検査日 / ・ / から開始

薬については確認させて頂くことがありますので、お薬手帳を持参してください。

【検査にあたって】

CT検査はX線を使って全身を撮影することができる検査で、寝台に寝た状態で撮影を行います。

検査時間は、内容によりますが約30分です。

検査中は息止めや体を動かさない等の制約があります。

体内に機器（ペースメーカーや除細動器など）が埋め込まれている場合、撮影時に誤作動を引き起こすものがありますので、体内にある機器の確認できる手帳やカード等を持参してください。

金属製の装飾品（ヘアピン・ネックレス・ピアス等）や貼り薬（シップ・エレキバン・カイロ）ははずしてください。着替えのしやすい服装でお越してください。

妊娠の可能性のある方、または妊娠されている方は申し出てください。

X線被ばくがありますが、健康被害がほとんど起こらない程度の被ばく線量とされていますし、当院における心臓造影CT検査の被ばく線量は、一般的な診断参考レベルの基準値である

CTDIvol 90mGy DLP1400 mGy・cmを下回っております。

なお、当院は更なる被ばく線量の低減に取り組んでおります。

緊急検査や機械トラブルなどで、予約時間より遅れる場合があります。予め、ご了承下さい。

「ヨード造影剤」について

今回実施するX線検査はヨード造影剤という薬を使用して行います。

造影剤を静脈内に注射することで血管の状態、臓器の血流、病変部の血流状態など、通常の検査に比べて詳しくわかり、病気の診断や治療方針を決めるのに役立ちます。

造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によって様々で、検査に応じて医師が判断いたします。

造影剤の副作用を避けるため、検査前には水・お茶などの水分を普段通りに摂取してください。

最近では副作用の少ないものが開発され用いられていますが、どんなに安全な薬剤でも副作用が絶対ないとは言えません。下記に示すような副作用が起こることもあります。

<ヨード造影剤で起こりうる副作用（種類、発生頻度）>

【即時性副作用 検査中または直後】

蕁麻疹、気分不快、かゆみ、発疹などの軽い副作用 ⇒ 100人に数人

血圧低下、呼吸困難、意識障害などの重い副作用 ⇒ 1万人に数人

ショックまれに心停止などの重篤な副作用 ⇒ 数十万人に1人

病状体質によってまれに死亡に至る例もあります。

症状の程度により治療や処置を行うことがあります。

【遅発性副作用】

検査終了後1時間から1週間経過後に遅れて薬疹と類似した皮膚反応が起こることがあります。

上記症状が疑われた時は、すぐにお近くの医療施設または当院救急外来を受診してください。

新東京病院 救急外来 047-711-8700 内線 6102

【造影剤血管外漏出の症状】

造影剤を注射する際、自動注入機を使用しているため血管に圧力がかかり、

まれに血管外に造影剤がもれることがあります。

はじめの数日は腫脹が大きくなりますが、ほとんどの場合は時間とともに改善します。

疼痛、腫脹、水泡など非常にまれですが、重篤例では潰瘍形成やコンパートメント症候群（組織、血管、神経の壊死や機能障害）などが報告されています。

造影剤副作用の症状や血管外漏出の漏れた量の程度により治療や処置を行うことがあります。

【CT検査造影剤について】

当院では、オムニパーク300（第一三共）

イオパミロン370（バイエル）を使用しています。

検査終了後は造影剤の速やかな排泄を促すため、主治医から水分制限を受けていない患者様は造影剤使用後に普段より水分を多めに摂取してください。また、食事は普段通りにおとり下さい。車の運転や入浴の制限もありません。

当院では万一の副作用に対して、万全の体制を整えて検査を行っています。

患者様には、造影剤の必要性和危険性をよく理解して頂いた上で、安全に検査を行うために、当日ご来院後、ヨード造影剤に関する問診と、検査の同意を書面にてお願い致します。

「ベータ遮断薬」「ニトログリセリン」について

心臓造影 CT 検査では、心臓を栄養する血管（＝冠動脈）の状態を調べます。検査時は心拍数が低く、冠動脈が広がっている方がきれいな画像が撮れますので、場合によってはベータ遮断薬、ニトログリセリンを使用することがあります。

【ベータ遮断薬】

ベータ遮断薬は、自律神経の働きを抑え、心拍数を下げます。同時に血圧を下げる効果もあり、高血圧や狭心症などの治療に広く用いられているお薬です。

【ベータ遮断薬を使用する利点】

心臓 CT 検査において、心臓の動きが早すぎる（心拍数が高い）と、画像がぶれてしまい、十分な診断を行えない恐れがあります。この薬を内服すると、1時間くらいで心拍数が下がり、検査中に緊張しても心拍数が上がりにくく、きれいなCT画像を撮ることができます。

【ベータ遮断薬の投与方法】

内服で十分に心拍数が下がらない場合、静注薬（コアベータ等）を使用することがあります。

【ベータ遮断薬の副作用】

脈が遅くなったり、血圧が下がったり、それに伴うめまい・吐き気・けん怠感・眠気・頭痛、発疹等の過敏症状、息が苦しくなる等の呼吸器系の症状等が生じる恐れが僅かながらあります。但し、このお薬の効果は内服約2時間半で消退しますのでまず心配ありません。こういった症状のでやすい気管支喘息、心機能低下(心不全)、低血圧の方には使用しないことがあります。

【ニトログリセリン】

ニトログリセリンは、冠動脈を拡張させる作用のあるお薬です。検査の時、冠動脈が拡張した状態のほうがきれいな画像が撮れるため、検査の約5分前に舌下投与します。少し脈が速くなり動悸を感じる場合がありますが、5分程度で落ち着きますので心配ありません。

ご不明な点がある場合や、ご都合で検査が受けられない場合は、事前に下記へご連絡ください。

お問い合わせ

《地域連携室》

☎ TEL 047-711-8283

☎ FAX 047-392-8709

月曜～土曜（日曜・祝日を除く）

08:30～17:15

FAXは24時間受付けています。